

検討の観点と内容の特色

[略号] U=Unit / SA=Stage Activity
 LL=Let's Listen / LR=Let's Read
 LT=Let's Talk / LW=Let's Write
 学び=学び方コーナー
 OR=Optional Reading

1. 教育基本法との関連

パンフ = 内容解説資料(パンフレット)









項目	観点	特色	具体例
第1号	1 幅広い知識と教養, 真理を求める態度	・題材を通して, 異なる文化の発想や考え方を知り, 広い視野 でものごとをとらえる力や 相手の立場 に立って理解しようとする態度を育成します。	1年U4(p.38)/2年U4(p.62)/3年U4(p.62) など
	2 豊かな情操と道徳心	・生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ, 友情や国際協力, 生命の尊さ, 人権などの道徳心 を培うように配慮しています。	1年U8(p.80)/2年LR2(p.100)/3年LR1(p.52), U5(p.76), U6(p.94), OR1(p.116) など
第2号	3 個人の価値の尊重, 能力, 創造性, 自主及び自律の精神	・グローバル時代に生きる全ての日本人に求められるコミュニケーション能力を育みます。 英語を学ぶことで身につく見方・考え方 が国や文化の違いを越えて人と人を結ぶ豊かなコミュニケーションをもたらすことへの気づきを与え, グローバルな視点での発言や行動に結びつけていくことを目指しています。	1年U4(p.38)/2年U4(p.64)/3年LT1(p.29), U6(p.89) など
	4 職業及び生活との関連, 勤労を重んずる態度	・働く人の姿を紹介したり, 職業体験のエピソードなどを取り上げたりすることで勤労意識を醸成するとともに, AIが普及する時代に人間が働くこと について深く考える機会を与えます。	1年U9(p.89)/2年U3(p.40)▶/3年U1(p.14) など
第3号	5 正義と責任, 男女の平等, 自他の敬愛と協力	・対話的な学習のために, ペアやグループ で取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し, 相手意識を持ってコミュニケーション を行ったり, 相手の立場に立って考えたり, 協力し合ったりする心を育みます。 ・イラストや写真を含め, 男女が協力 して家庭生活を営む様子を取り上げています。かつ, 社会で働く人の姿についても男女を取り上げています。	・1年U1~U5のEnjoy Communication(p.12など)/各学年UnitのUnit Activity(1年p.63など)/各学年SA(1年p.96など)/3年LT2(p.67) など ・1年U8(p.80)/2年U3(p.40) など
	6 公共の精神, 社会の発展に寄与する態度	・地域社会の一員として, 英語を通じて 社会への参画意識 を持たせるとともに, その発展に寄与する態度を養います。	1年U9(p.93)/2年U5(p.76)/3年U4(p.64), Learning CIVICS in English(p.68) など
第4号	7 生命を尊び, 環境の保全に寄与する態度	・自然を大切にしたり, 環境の保全 を意識したりするような題材を取り上げています。	1年U6(p.60)/2年U7(p.112), LR3(p.122)/3年U3(p.35), LR2(p.106) など
第5号	8 伝統と文化の尊重, 我が国と郷土を愛する態度	・世界に日本の良さを発信しようとする生徒を育てるために, 伝統や文化, 自然 に関する題材を取り上げています。また, 国語との関連を図り, 日本語との関連から英語について学べるような資料を掲載し, 言葉への豊かな感性と情操を育成します。	1年U7(p.69), Learning LITERATURE in English(p.122)/2年U7(p.112)/3年U2(p.19), SA2(p.84), 名作鑑賞(p.120) など
	9 他国を尊重し, 国際社会の平和と発展に寄与する態度	・グローバル社会で生きることを意識し, 海外の生活や文化を理解し, 尊重する心を育み, 国際社会の平和と発展に寄与 する態度を養います。	2年U4(p.62)/3年U6(p.94)▶



2. 教育課程及び学習指導要領への対応

項目	観点	特色	具体例
1 全体	1 学習指導要領に準じた内容になっているか。	・学習指導要領(中学校外国語科)に示された目標に則り, コミュニケーション能力の育成を目指しています。 言語材料の知識と技能 を基盤とし, 生徒が自分で 思考し, 判断 したことを適切に表現できることを 深い学び ととらえ, 段階的に学びを深められるように活動を組み立てています。 ・ 英語で意思や情報を伝え合う活動や協働して問題解決に当たる活動 を充実させ, 対話的な学習を促しています。さらに, 話されたり書かれたりしたことの意味や背景を推測したり, 自分の考えを深めてそれを表現につなげたりするようなコミュニケーション活動を充実させています。	・全体(pp.0-1)/2年U0~SA1(pp.4-50)など パンフp.6 ・各学年UnitのUnit Activity(3年p.28など)/各学年SA(3年p.48など)/2・3年UnitのRead and Think(2年p.15など) パンフp.14
2 内容・系統	2 目標は適切に設定されているか。	・小中高の学びを見通したうえで, 各学年・各学期の到達点(目標)をCAN-DOリストとして示して, 明確な 到達点に向かって学習を進められる ようにしています。 ・各単元の冒頭に必ず到達点(目標)を示しています。また, Unitでは単元末にも同じ文を載せ, 振り返りや自己評価をすることができます。	・各学年(pp.2-3, 巻末CAN-DOリスト) パンフp.6 ・各学年Unit(2年p.7, p.16など)
	3 学習の成果を見取る活動が適切に設定されているか。	・Mini Activity(Unit途中)⇒Unit Activity(Unit末)⇒Stage Activity(学期末・年3回)という順で, 全体を通してStage Activityに向けて活動を系統的に積み上げています 。いずれもパフォーマンス評価を行うことができます。	各学年UnitのMini Activity(3年p.23など) 各学年UnitのUnit Activity(3年p.28など) 各学年SA(3年p.48など) パンフp.16
	4 4技能5領域の活動がバランスよく配置されているか。	・Unitでは, 目的・場面・状況 を意識し, 4技能5領域をバランスよく活用しながら文法の学習を行います。 ・Stage Activityでは, 複数の技能・領域を統合的に活用し, 自己表現 を行います。 ・Let'sシリーズ(Let's Listen/Let's Read/Let's Talk/Let's Write)では, より リアルな場面設定 のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばします。	・各学年Unit(1年pp.57-63など) ・1年SA1(p.54)=書く/ 2年SA2(p.96)=発表/ 3年SA3(p.102)=やり取り ・3年LL3(p.56)/1年LR1(p.98)/ 1年LT2(p.74)/2年LW2(p.67) など パンフpp.18-21
3 組織・配列	5 知識・技能と思考力・判断力・表現力などがバランスよく身につくよう配慮されているか。	・Unit・Let'sシリーズ(Listen, Read, Talk, Write)・Stage Activityの3つの主要単元で, 知識・技能の習得と活用 を繰り返しながら 思考力・判断力・表現力 などの育成を目指します。いずれの単元でも, 言語を使用する 目的・場面・状況 を意識して活動に取り組めるような仕組みにしています。	全体(pp.0-1)/各学年UnitのPreview(1年p.58, 2年p.8, 3年p.8など)▼
	6 学習方法や授業展開がわかりやすい構成になっているか。	・1ページあたり 1時間を基本 とし, 時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ・各Unitのパート構成を同じにし, 学習の流れを見通しやすく しています。	・全体 ・1年U2(pp.19-25) など
	7 学習事項は発達段階に応じて適切に配列されているか。	・全学年を通して, 既習事項を スパイラルに学習 できる構成になっています。 ・Unit 0では 前学年の学習を復習 できます(1年Unit 0は小学校の復習)。	・全体: 2年U3(p.42), U7(p.107)/ 3年U1(p.12), U3(p.37) など ・1年U0(pp.4-8)/2・3年U0(p.4)
4 分量	8 小学校や高等学校との適切な連携が図られているか。	・1年生では小学校との円滑な接続のために十分な期間(Unit 0~5)を取り, 小学校の 音を中心とする学習 を受けとめ, 中学校における 4技能5領域の力をバランスよく育成する学習 へと移行できる構成にしています。 ・小学校で重視された Small Talk(スモールトーク) を中学校でも継続して行うことができるようにしています。簡単なメモを見て発表したり, 即興で話したりする力 を伸ばすことに有効です。 ・3年生では, 高等学校の学習へ円滑につなぐため, 段階的にリーディングの語数を増やし , 発達段階に合わせた課題を設定しています。	・1年U0~U5(pp.4-53)▼ ・1年Small Talk! 1(p.56) ・3年U5(p.76), U6(p.94) など パンフp.24
	9 文章量は適切か。	・小英が教科化されたことを重視し, また自然なリズムのある英文に触れられるように, 教科書で扱う分量を段階的に増やしています。同時に, 高等学校への接続を考え, 入試で扱われる分量を想定して英文の量や活動の種類を充実させています。	・全体: 1年U1(p.14), LR2(p.124)/ 2年U1(p.12), LR3(p.122)/ 3年U1(p.12), LR3(p.110) など

検討の観点と内容の特色

項目	観点	特色	具体例
	10 語彙の選定基準及び語数は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> 語彙は、小学校の教科書や従来中学校で扱ってきたもの、CEFR-Jの語彙リストのA1レベルを中心に選定しています。小学校で学習したとみなされる語を630語と設定し、それに加えて中学校の新出語約1,700語を加えた約2,300語を扱っています。 上記約2,300語のうち合計1,000語を「特に覚えたい語」と設定し、Word Listに太字で示しています。この1,000語は、全ての生徒の発信語彙として繰り返し提示して定着できるようにしています。 中学校新出の約1,700語には、教科書本文だけでなく本文以外の部分で扱う語も含め、生徒の負担増を軽減しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年U1 (p.12脚注) ▶、小学校の単語リスト (p.132) 3年Word List (p.127)  <p>パンフ p.28</p>
5 資質・能力への対応	11 自律的な学習者を育成する工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「学び方コーナー」では英語学習のポイントやコツを3学年通して系統的に取り上げ、生涯英語を学ぶ主体的な学習態度を育成することを目指しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年学び1 (p.9) / 2年学び1 (p.33) / 3年学び1 (p.6) <p>パンフ p.22</p>
	12 特別支援教育やユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で使用している視認性や書きやすさに配慮された書体を採用し、1年の全体で使用しています。また、4線については、第2線と第3線の間幅をやや広くし、文章全体の9割を占める小文字を書きやすくしています。 本文やNew Words, Key Sentenceなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているので、安心して学習に取り組むことができます。 色覚特性の専門家による校閲を受け、カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインの検証を行いました。 拡大教科書を発行し、すべての生徒に教育の機会均等を保障します。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年全体 ▼  <p>パンフ p.29</p> <p>全体：1年U2 (pp.20-25) など</p>
6 学習支援と指導支援	13 学びを促進するためのデジタルコンテンツが用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 紙面に付したQRコードを機器で読み取ることで、手軽に本文と語句欄の音声を聞けるため、学校でも家庭でも音声を活用した学習ができます。 Unitの最初に配置しているPreviewには、QRコードでアニメーションと音声を付しているため、そのUnitで扱っている文法項目を使う「目的・場面・状況」への気づきを与えることができ、意味のある文法の導入となります。 制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。デジタル教科書の使用によって、必要な部分を大きくして見たり、簡単に音声にアクセスしたりすることができるため、学習の効率化が図れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体：1年U1 (p.13), U6 (p.58) など ▼  <p>パンフ p.30</p>
	14 教員の負担軽減への取り組みがなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 既習語とみならず小学校で扱った単語については、「小学校の単語」という側注を設け、生徒がどのような語句に触れてきたのかを明確にしています。 指導書DVD-ROMには、4線つき・なぞり書き用フォントや、Word Roomのイラストデータなど、教材作成に便利なデータが豊富に収録されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体：1年U6 (p.59) など 各学年Word Room (1年pp.152-167 など) <p>内容解説資料②「指導書資料」p.5</p>
	15 少人数学習は考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 少人数学習を実施する学校でも使いやすいように、ペアやグループでの学習を入れたり、進度によって使えるOptional Readingを設けたりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体：2年U2 (p.25) など / 各学年OR (2年p.130 など)
7 学習の習慣化 (規律・態度等)	16 自学自習や自己表現活動を支援する工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 授業以外の場でも英語の音声を聞けるよう、QRコードを付しています。QRコードだけでなく、各学年のp.3に示すURLからアクセスすることもできます。 Word Roomで語彙をジャンル別に豊富に示し、活動する際に自分が言いたいことを表現するときに使えるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年 (p.3) 各学年 Word Room (1年p.152 など) ▶ 
	17 日本語との違いに気づかせる工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 言語力を育成するために、「学び方コーナー」で日本語との違いに触れるなど、国語を意識した学習ができるようにしています。 国語の学習を生かして、相手に伝わる音読の仕方や、発表するときの留意点、英語の論理に合ったパラグラフ構成、レポートでの事実の示し方、ディベートでの意見の述べ方などを扱ったり、文学作品の構成を読み取らせたりするなどしています。 俳句と英語の伝統的な詩を比較したり、親しみのある物語の英語の原典を読んだりするなど、国語との連携を図った学習ができるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年学び4 (p.85) / 3年学び1 (p.6) 1年SA3 (p.121) / 2年学び2 (p.69) / 3年学び2 (p.47), LW3 (p.81) など 3年U2 (p.19), 名作鑑賞 (p.120) 
8 言語力の育成	18 読解力の育成に工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 説明文や物語、対話文、スピーチなどさまざまなタイプの文章を取り上げています。 図やグラフを含む非連続型テキストの読解力の育成にも配慮しています。 長い文章の「概要」「必要な情報」「要点」を読み取るスキルが身につくように、丁寧に段階を追った課題を2・3年Unitに設定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体：UnitやLR 1年LR1 (p.98) ▶ 2・3年Unitの Read and Think (2年p.15 など)
	19 CLILに対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> CLIL (内容言語統合型学習) への対応として、他教科での学習を生かすもの、現代的な諸課題に対応するものなどを扱い、生徒の理解を深めるようにしています。 他教科との関連としては、国語、社会、理科、技術・家庭について、CLILの指導ができるページを設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年 Learning LITERATURE in English (p.122) / 3年 Learning CIVICS in English (p.68) など <p>パンフ p.27</p> <p>社会(公民)</p>
9 他教科との関連	20 道徳教育との関連が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の学習指導要領の内容に配慮して題材を取り上げています。特に、平和や国際理解・国際貢献の視点から、多様な国々を取り上げることで、世界へ目を向け、視野を広げ、それぞれの国が大事にしていることの理解につなげています。 ペアやグループの学習、発表のときなど、相手意識を持って伝え合い、伝わる喜びを感じられるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年U9 (p.92) / 2年LR2 (p.100) / 3年U6 (p.89) など 全体：3年SA1 (p.50) など ▶ 
	21 判型・ページ数は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> 指導時数はこれまでと変わらないことから、指導や学習の負担に配慮し、本編のページ数は現行の教科書と同等におさえています。 小英の教科化や語数増に対応して本文の分量が増えています。判型をA4にすることで、生徒の理解を助ける視覚資料 (イラストや写真、図など) も豊富に掲載しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年U6 (p.94) など <p>パンフ p.29</p>
10 造本上の工夫	22 軽量化への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 従来よりも目にやさしく、読みやすいナチュラルな色味の紙を採用しました。同色の従来品に比べて軽量化を図り、重さに配慮しています。 	
	23 SDGs	<ul style="list-style-type: none"> 1~3年を通して、SDGsの17の目標に関連した題材を豊富に取り上げています。 発達段階を考慮し、特に3年では、各題材をSDGsとの関連を図って取り上げ、生徒が世界のためにできることをさまざまな視点から考える助けとなるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年U9 (p.92) / 3年前見返しなど <p>パンフ p.26</p> 
11 今日的な課題	24 多様性・人権	<ul style="list-style-type: none"> 題材や人物の出身国は、英語圏だけでなく、できるだけ多様な世界の国々から設定しています。それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深めたりできるようにしています。3年では特に、日本以外のアジアやアフリカの国々を多く取り上げています。また男女のバランスにも配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年：ニュージーランド (U4), フィリピン (U6), ケニア (U9), イギリス (U10) / 2年：シンガポール (U1), インド (U2), アメリカ (U4) / 3年：コンゴ (U3), アフガニスタン (U6) など
	25 防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を通して防災や安全の視点を重視しています。特に日本国内の国際化に目を向け、災害時の外国人支援について取り上げています。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年U4 (p.57) など 
	26 環境・資源エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 動物や自然を保護する大切さとその理由や、今日我々が直面する環境問題やエネルギー問題を、テーマとして大きく扱っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年LR3 (p.122), 3年U3 (p.35), LR2 (p.106) など